
ジンケンヒ サクゲン

鳩里 登太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジンケンヒ サクゲン

【Nコード】

N4512BA

【作者名】

鳩里 登太朗

【あらすじ】

思いつきで書きました。

「ジンケンヒ サクゲン」

そのスローガンを日本政府が掲げた時、学のない人間は「公務員削減だ、減税だ」と饗宴の如く騒ぎ立てたが、富裕層や知識層の人間はさっさと荷物を纏めて国外に高飛びしてしまった。

私とて、例外ではない。

西暦でいうところの2050年を迎えた現在の日本、つまるところ教育後進国となってしまう日本を、私は憂うような目で空高くから俯瞰している。

誰が考えたのかは知らないが、正気の沙汰ではない。

あと数時間もすれば姉夫妻が暮らすロサンゼルスで朝刊を手に取ることになるだろうが、実際に目の当たりにせずとも一面記事は予想することが出来る。

それに、今後の日本の行く末だって、安易に予測することが出来る。

数多の人間が路上に打ち捨てられ、力のない者から死んでいくのだ。

女は犯され、老人は殺され、やがて残るのは人とも猿とも付かぬヒトモドキのみ。

弱い者の集団の中で更に弱い者が喰い潰される負の連鎖、それはすぐにも疫病のように日本全土で蔓延して、やがて死ぬ。

泥舟のように国が沈むのだ、沢山の人を乗せたままで。

本当に、正気ではない。

狂気というほどの生易しいものですらない。

全く馬鹿げている。

しかしながら、考え方によっては、だ。

漢字すらもまともに読むことが出来ない人間がほとんどを占め、かつての技術立国の面影もなければ、人間が人間足る最低限の尊厳さえ持ち合わせない人間ばかりのこんな国は、滅びてしまった方が良いのかもしれない。

いや、不謹慎だ。

こんな考え方は軽率で、残酷だ。

やはり、馬鹿げている。

少なくとも政府が公に宣言するようなことではないだろう。

「人権費 削減」だなんて。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4512ba/>

ジンケンヒ サクゲン

2012年1月12日03時55分発行